

令和8年度予算見積調書

課室名：畜産安全課
担当名：畜産振興担当
内線：4194

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
P35	高品質畜産物生産体制整備事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費
事業期間	昭和52年度～ 法第18条、養豚農業振興法第8条	根拠 法	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3、 令	針路	12 分野施策	儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立		SDGsゴール SDGsターゲット 2-4
1 事業概要	埼玉県が作出したブランド肉用鶏「彩の国地鶏タマシヤモ」の生産振興を図るため、原種鶏等の維持及び安定的なヒナの生産及び供給を行う。 また、高品質畜産物生産に有効な受精卵移植技術の普及定着化を図るための技術改良を推進する。	ア 高品質畜産物生産振興事業 イ 受精卵移植技術推進事業	6,264千円 1,516千円	5 事業説明	(1) 事業内容 ア 高品質畜産物生産振興事業 6,264千円 原種鶏及び種鶏の維持を行うとともに、タマシヤモ生産農家へのヒナ供給とタマシヤモ生産農家の飼養技術の向上を図る。 イ 受精卵移植技術推進事業 1,516千円 牛：受胎率向上のための技術改善 豚：受精卵の作出技術及び保存技術の改善			
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)		(2) 事業計画 ア 高品質畜産物生産振興事業 「彩の国地鶏タマシヤモ」の種鶏維持及びヒナの安定供給を図る。 イ 受精卵移植技術推進事業 牛：和牛受精卵の移植技術の向上を図る。 豚：イギリス系バークシャー種を中心とした貴重品種の保存と効率的利用拡大を図る。		(3) 事業効果 ア 高品質畜産物生産振興事業 ブランド畜産物「彩の国地鶏タマシヤモ」の安定供給により、タマシヤモ農家の生産振興が図られる。 【事業実績(アウトプット)】令和6年度 タマシヤモヒナ供給(21,550羽) 【成果目標(アウトカム)】令和6年度 タマシヤモ生産量(21,550羽) イ 受精卵移植技術推進事業 【事業実績(アウトプット)】令和6年度 黒豚供給(9頭) 【成果目標(アウトカム)】令和6年度 黒豚出荷頭数(3,166頭) 優良血統家畜の効率的な維持・増産により、和牛生産農家・養豚農家の生産振興が図られる。				
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用)(区分)農業行政費(細目)生産流通振興費(細節)畜産振興費		(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 高品質畜産物生産振興事業 タマシヤモ生産者、食鳥処理業者、流通業者を構成員とした「タマシヤモ普及協議会」と連携し事業実施 イ 受精卵移植技術推進事業 牛：県内民間技術者と連携して事業を実施 豚：ブランド畜産物生産者団体「彩の国黒豚俱楽部」と連携して事業を実施						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.7人=35,150千円								

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
	財産収入							
決定額	7,780	5,900					1,880	761
前年額	7,019	5,912					1,107	

事業内訳書

事業名	高品質畜産物生産体制整備事業		
単位事業名	高品質畜産物生産振興事業	予算額	6,264千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	4,898	△12	農業技術研究センター家きん等
一般財源	1,366	509	
合計	6,264	497	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	65	△9	会議、県内旅費
需用費	5,997	437	飼養管理資材、資料印刷費、飼養管理費(飼料、医薬品、修繕費)
役務費	202	69	郵券、ヒナ鑑別手数料
合計	6,264	497	

単位事業名	受精卵移植技術推進事業	予算額	1,516千円
-------	-------------	-----	---------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 生産物売扱収入	1,002	0	農業技術研究センタ一家畜
一般財源	514	264	
合計	1,516	264	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	46	0	全国会議、県内旅費
需用費	1,373	264	牛・豚受精卵移植用資材、資料印刷費、豚飼養管理費(飼料) 豚受精卵移植用医薬品材料費
役務費	97	0	と畜手数料
合計	1,516	264	